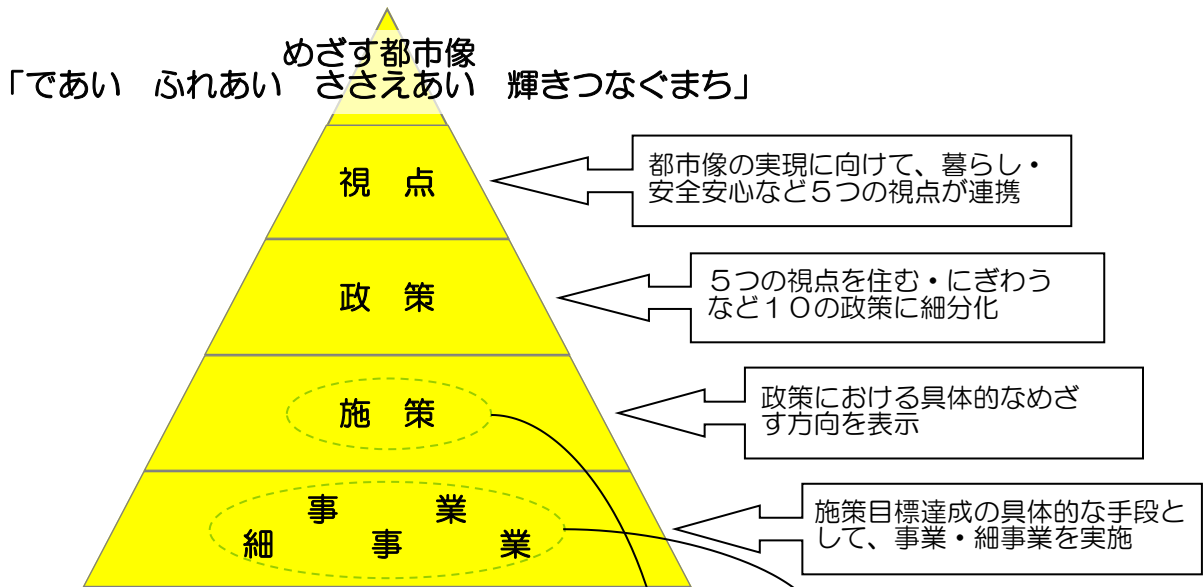


# 1. 行政サービス成果編の見方について

○第5次川西市総合計画「かわにし 幸せ ものがたり」の前期基本計画政策構造



行政サービス成果表目次

視点	政策	施策	施策別 評価値	事業	事業別 評価値	決算 書値
暮らし	住む	良好な都市環境を整備します	17	都市計画管理事業	35	258
				都市景観形成事業	37	258
				開発行為審査事業	39	260
				住宅・宅地調整事業	41	260
				地籍調査事業	43	262
				まちづくり支援事業	45	262
				建築指導事業	47	280

※ 事業のうち、行政内部の管理関係事業については、掲載していないものがあります。

## ○各施策別、事業別行政サービス成果表での職員人件費・公債費の計上について

職員人件費は平均人件費×職員数で算出し、計上しています。

※一般会計における平均人件費：職員8,673千円、再任用職員3,933千円。  
平均人件費には、職員共済組合負担金と退職手当組合負担金も含んでいます。

公債費は、元金及び利子を各事業に分類し、計上しています。

## ○施策別行政サービス成果表の施策評価について

第5次総合計画前期基本計画における施策の達成度を可視化するものとして、各施策に「施策評価指標」を設定し、指標を設定した際の基準値（平成23年度又は平成24年度値）及び各年度の実績値、前期基本計画の最終年度である平成29年度を目標年度とした目標値を表示しています。

目標値及び実績値の推移はグラフで示す（目標のめざすべき方向性を矢印で表記）とともに、各評価指標を担当する部長が「実績値の評価・分析」、「目標達成に向けた今後の課題」について、関連する事業の成果をはじめ社会情勢の変化などを踏まえながらコメントしています。

これにより、前期基本計画を施策の達成度から評価し、市民目線に立った施策と事業の見直しに繋げていきます。

施策1 「良好な都市環境を整備します」

評価指標を設定  
指標値の分析

【施策評価指標】

評価指標				傾向
1 「居住地域に住み続けたい」と思う市民の割合	定義	方向性	市民実感調査より	<p>「居住地域に住み続けたい」と思う市民の割合</p>
	実績値の評価・分析		・自分たちが暮らす“ふるさと川西”への愛着の高さがわかる。	
	目標達成に向けた今後の課題		・都市計画決定により住み続けたいと思うまちの実現を図る。 ・これまで展開してきた市民・事業者・行政による協働のまちづくりを今後も展開していく。	
	担当課		都市整備部 都市計画課	

## ○事業別行政サービス成果表の「参画と協働の主な手法」について

平成26年度に各事業で実施した参画と協働の取組について14の手法に分類し、主な手法を3つまで列挙しています。どの手法にもあてはまらない取組がある場合は、その他に分類し、取組の名称を挙げています。

### <手法の分類>

- 01.意見提出手続（パブリックコメント）、02.審議会等の附属機関、03.住民説明会の開催  
04.アンケート、05.意見・提案の募集、06.講座・講習会、07.フォーラム・シンポジウム  
08.ワークショップ、09.市政モニター、10.共催、実行委員会  
11.ボランティア・NPO等との連携、12.補助、助成、報償、13.委託、14.指定管理

## ○事業別行政サービス成果表の事業の自己評価及び今後の方向性について

この評価の目的は、評価過程において、事業の課題を掘り起こし、明らかにすることで、次年度以降の業務改善に繋げようとするものです。

「自己評価」は、各事業を所管する部長が、それぞれの事業計画や予算で想定していた成果に対する達成度合いを以下の四段階で評価しています。

「課題と改善について」は、「妥当性」「効率性」「有効性」「参画と協働」の4つの視点を全て考慮して、次年度以降に向けた課題と改善点を記載しています。

「27年度以降における具体的な方向性について」は、年次的に計画している事業内容など、27年度以降の事業の概要を記載しています。

### <評価の段階>

- ・想定以上の成果を達成できた・・・各種計画や予算で想定した以上の成果が達成されている
- ・おおむね達成できた・・・各種計画や予算での想定どおりの成果が達成されている
- ・少し達成できた・・・各種計画や予算で想定した成果を少し下回っている
- ・現状のままに留まった・・・前の年度にあげた成果のレベルに留まっている